



# 緑の風

「みんなでつくろう 笑顔いっぱい 永原小学校」

## 支え合い・認め合い・高めあう

## ～ 北京オリンピックの感動 ① ～

校長 高岡 和也

2022年北京オリンピックでは、連日、様々な競技で熱戦が繰り広げられました。私が、今大会で一番楽しみにしていた競技は、スピードスケートの「女子チームパシュート」という競技です。



スピードスケート競技は、基本的には個人種目で、誰が一番速いタイムで滑るかを競う競技ですが、このチームパシュートだけは、「チーム」という名前のおり団体競技です。

左の写真は、前回の平昌オリンピックでの日本女子チームパシュートの滑りです。3人がこんなに接近して滑るのには、理由があります。チームパシュートでは、400mのリンクを6周、2400mを時速50km以上のスピードで滑ります。先頭を滑る人は、空気抵抗を強く受けるので、体力を使い疲れてしまいます。体格的に外国勢より小柄な日本チームには、この空気抵抗をどう軽減させるかが鍵となるのだそうです。そのために、技術的に相当難しいこの

接近しての滑りを鍛え上げてきたのだそうです。

日本チームの4人の選手同士も、他の1000mや3000m等の競技では、お互いにライバルとして競い合っています。ライバルでもある選手同士が、チームパシュートで金メダルを目指すのは、お互いの力を認め、信頼し、支え合ってきたからだと思います。

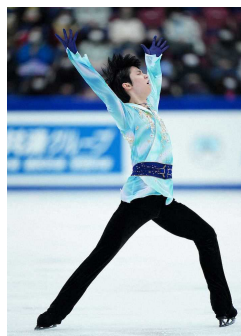
『2022年 2月15日 午後5時25分過ぎ カナダとの決勝戦 スタート直後から一糸乱れぬ完璧な隊列でリード ゴール目の最終コーナー バランスを崩し…転倒…「ウァッ！」思わず声が出てしまいました。』

4年前と同じメンバーでオリンピック連覇を目指し、互いに認め合い、支え合い、高めあってきた日本チームの銀メダル獲得に感動しました。



## 挑戦し続ける 自分自身との戦い

## ～ 北京オリンピックの感動 ② ～



北京オリンピックで、楽しみにしていた選手がいます。羽生 結弦選手です。男子フィギュアスケート競技で誰が金メダルを獲得するかというより、羽生選手がどんな演技を見せてくれるかが楽しみだったのです。羽生選手の演技には、何か「ゾクッ」と魅了させられるものがあるからです。

もう一人、フィギュアスケートでその演技に魅了させられた選手がいます。2006年トリノオリンピックで、「イナバウアー」で有名になった荒川 静香選手です。イナバウアーは、得点につながらない「基礎点なし」という演技なのだそうですが、荒川選手は、イナバウアーを演技に入れ、観客を魅了し、金メダルも獲得しました。

オリンピック3連覇を目指す羽生選手は、ショートプログラムを終えてまさかの8

位。逆転を目指すには、公式戦でまだ成功していない4回転アクセルを成功させなければならないという、かなり厳しい状況でした。目標を銅メダルに変えれば、羽生選手の実力なら、あえて4回転アクセルを跳ばなくても十分可能なのではと思いましたが、羽生選手は挑戦しました。

これまで以上に「ゾクッ」とする記憶に残る演技でした。

試合後『4回転アクセルを跳ぶことが目標で、練習を積んできた。自分自身との戦いなのです。』と話していました。

挑戦し続ける羽生選手の演技が、これからも楽しみです。



## オリンピック余談



職員室で、「子供のころ、長野オリンピック(1998年)を見たのを覚えています。」という話ができました。私も小学生の時に学校でオリンピックを見たことを記憶しています。「日の丸飛行隊」と呼ばれたジャンプ陣が活躍した札幌オリンピック(1972年)でした。当時のジャンプは、ノーマルヒル・ラージヒルとは言わず、70m級・90m級ジャンプと言っていました。ジャンプの形態模写も流行し、前傾姿勢でズボン(パンツとは言っていませんでした)の太もものあたりをバタバタさせていたので、今回のように『2cm』が問題になるようなスーツではなかったんですね。学校のテレビは、『白黒』だったような気がします。



## コロナ禍の中での校内なわとび大会



校内なわとび大会は、いつもなら全校一斉に行われ、大勢の友だちや保護者の前でがんばりを披露するのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための接触制限をしており、今回は各学級ごとの実施となりました。大勢で実施する種目も変更しなければならず、8の字跳びも実施できませんでした。少しさびしいでしたが、その分、一人一人の練習の成果をたっぷりと披露することができました。

これからも、いろいろな学習活動や、学校行事で今までどおりいかないこともあると思いますが、子供たちが一つでも多くのことに挑戦できるように、工夫して実施していきたいと思ひます。



【1・2年生】



【3・4年生】



【5・6年生】



【おひさま学級】

## 栄養教諭による授業

栄養教諭の藤原先生に来ていただき、学級ごとに食に関する授業をしていただきました。1・2年生は「好き嫌いをなく食べること」について、5・6年生は「和食のよさ」について学習しました。

3・4年生は「よく噛んで食べる」ことの大切さを学習しました。よく噛んで食べると、心にも体にも、頭にもいいことがたくさんあることをしっかり理解することができました。

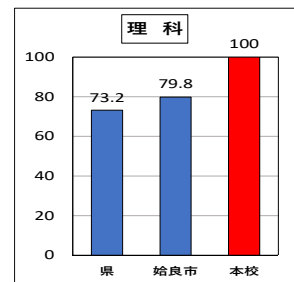
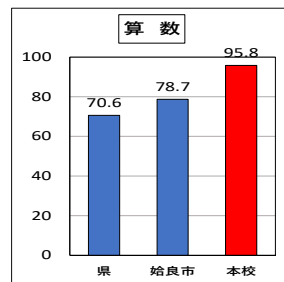
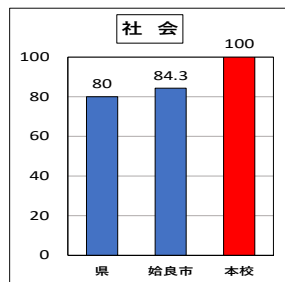
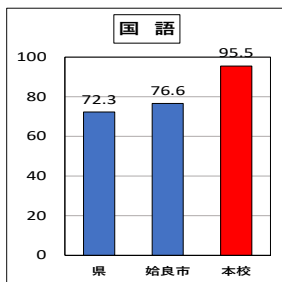
その日の給食は、どの子供たちもいつもより、ゆっくりよく噛んで食べるできていました。



## 令和3年度 鹿児島学習定着度調査

※ 実施日：令和4年1月18日（国・理）、19日（社・算） 実施対象：5年生

### 【各教科ごとの正答率】



どの教科においても、正答率の平均が95以上となりました。特に社会と理科においては、正答率が100と、学力向上への取組の成果が大いにみられる結果となりました。

3月は、一年のまとめをし、確かな学力を身につけるための指導を行っていきます。

4月に行われるNRT検査で、しっかりと結果に表せるように、今後もさらなる向上を目指して、指導をしていきます。



## 【3月の行事予定】

1日（火）	合同給食（～2日）（テレビ会食）	23日（水）	3のつく日のあいさつ運動
3日（木）	3のつく日のあいさつ運動		卒業式会場準備
4日（金）	6年生を送る会 お別れ遠足	24日（木）	卒業式
9日（水）	全体・学級PTA 家庭教育学級閉級式	25日（金）	修了式
15日（火）	あいあい号 6年生との会食	29日（火）	離任式

